

心地よい水音の風景：
閑静な市街地の中を勢いよく流れ落ちる“どんどこ”落差工



撮影：2014年9月（富山県富山市・いたち川）

◆地域と深く結びついた川の姿

いたち川は常願寺川中流部から取水され、富山市の東を流下しながら富山駅北地区で神通川にそそぎます。かつては“富山の薬”を粉状に引く水車が数多く見られたといえます。“どんどこ”の上流区間は近年、地域の要望を聞きながら風合いのある自然石玉石護岸の整備がされました。

◆“どんどこ”の愛称で親しまれ

富山の方言で取水堰や落差工のことを通称“どんどこ”と呼ぶそうです。落差工の下流は浅瀬となっていて、子供たちが大勢で川を渡るイベントやサギやカモが餌を求める多自然河川空間です。

岡村幸二（JRRN会員）